



東京都立六本木高等学校 学校だより

ROPPONGI

第2号 令和7年12月25日

六本木生の輝く姿!!!

副校长 高月 洋

あと1週間ほどで令和7年が終わり、令和8年が始まります。この二学期は、研修旅行やきらら祭などを中心に、行事が多かったからか、本当にあつという間に過ぎていった印象です。

さて、本校では、次年度の入学者選抜に向けた準備が進んでいます。11月と12月にそれぞれ1回ずつ、入試説明会を実施しました。今回は今まで以上に、生徒の代表である生徒会役員の皆さんに、多くの役割を担ってもらいました。例えば、会場の席への案内、学校の特色や校内見学の説明などがあります。以下、参加者からの感想です。

- ・「生徒の皆さんのが積極的に過ごしている様子がとてもよく伝わった。来年度は自分も積極的に学び過ごしたい。」
- ・「生徒中心の説明会を開催されているのが素晴らしい、自身の体験による説明で学校の様子がよく分かりました。」
- ・「生徒の皆さんのが明るく丁寧に対応されており、学校の指導と生徒の自主性がしっかりと根付いていると感じた。」

御校において、娘も明るく元気に、充実した高校生活を送れることを心より願っております。」

いかがでしょうか。六本木生の素晴らしい姿が、参加者の生の声から伝わってくるのではないかでしょうか。

私も当日、生徒会の皆さんのが活躍する姿を見て、誇らしげに思いました。特に参加者を大切にする「おもてなし」の態度には、大げさではなく感動しました。六本木高校は、とても人気のある学校だと言われます。様々な理由があると思いますが、その一つは間違いなく、このように輝く六本木生の姿です。令和8年も、その輝きがさらに増すように、自分自身を高め、磨いてください。学校は全力で応援します。

学校行事報告

【きらら祭】(生徒部)

10/31（金）、11/1（土）に第21回きらら祭が開催されました。

きらら祭実行委員会をはじめ、各出展団体、各部など多くの生徒がきらら祭を盛り上げようと長い間準備をしてきました。

11/1（土）の一般公開日は、来場者数が1000人を超えて、大盛況となりました。きらら祭大賞には天文部が選ばれ、3年連続という偉業を成し遂げました。来年度のきらら祭もさらに盛り上げていきますので、お楽しみに★☆

きらら祭実行委員長 橋本咲太

きらら祭実行委員長の橋本です。笑顔溢れる行事作りを目指し、我々委員は全力を尽くしてきました。迫力あるステージや創意工夫されたクオリティの高い出展もでき、生徒及び来校者の方々も、満足していただけたと思います。今年のきらら祭で、良い思い出を作っていただけたのならば、委員長として本当に嬉しいと思います。



【研修旅行】2年次

10/5~10/7の3日間、研修旅行として大阪・京都に行ってきました。1日目は中央線の大幅な遅延が発生しましたが、ほとんどの生徒が集合時間に間に合いました。ほぼ予定通りに新大阪に着いてからは、班ごとに事前に決めておいたルートで大阪観光を楽しみました。2日目は終日USJで過ごしました。夕方からは六本木高校貸し切りのパーティに参加するなど、たくさんの思い出を作れたと思います。また、「USJ内で働いている人を見つけよう」というミッションを実施しました。多様な職業に触れたり考えたりすることで、自身の進路について深掘りするきっかけになったと思います。3日目はホテルからバスで移動し、京都方面に行きました。京友禅の体験学習や嵐山観光、金閣寺の見学など、ここでも普段の生活では味わえない体験ができたと思います。大きな事故や事件もなく、非常に充実した3日間を過ごしました。参加した20期生全員にとって、今後の人生において何か役に立つ、あるいは心の支えになるような貴重な時間になっていれば幸いです。



第2回保護者交流会（相談部）

本校の精神科校医による講演では、「抱える」をテーマに、子どもへの接し方や受け止め方、医療と学校の役割などを、具体的に説明していただきました。本校の生徒3名による質問形式での対話講演会では、生徒達の過去と現在の率直な思いを聞くことができました。

最後に保護者同士の交流会を行い、各グループが様々なテーマで情報交換をしていただき、大いに盛り上りました。お忙しい所、御参加いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

